

黒崎地区 社協だより

黒崎地区社会福祉協議会

会長 花田 修



発行者 黒崎地区社協
責任者 花田修
編集者 安達マキ代
事務局
黒崎市民センター
☎641-4106



あけましておめでとうございませう。

日頃より黒崎地区社会福祉協議会の諸活動に対してご理解とご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も第一次五ヶ年計画に基づいた諸活動を、皆様のご協力のもと着実に実行に移し、自分たちの手で明るく安心して住み続けられる町づくりをめざします。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

我他彼此(ガタピシ) しやすい人間関係

「俺が」「私が」と自分ばかりを主張すると、協力が出来なくなり、人間関係がうまくいかなくなってしまうものです。

お経の中に「群盲象をなでる」という話があります。ある王様が、目の見えぬ人を集めて、象を触らせました。象の鼻を触った人は、「これは太い縄です」耳を触った人は、「これは大きな布です」胴体を触った人は、「これは壁です」と口々に答えました。そして、「これは壁だ」「いや布だ」何を言っている「縄だ」と言い争いになったというお話です。部分だけを見ていては全体はわからず、目の前のことに固執すると、対立や争いを生んでしまうことを教えてください。

「しやくするさまを「ガタピシ」するといいますが、この言葉は仏教の言葉が語源となっています。我他彼此とは、我は自分、他は他人、彼はアレ、此はコレでこれらが対立してぶつつかっているさまを表しています。「俺が」「私が」と自分の主張ばかりしていると、人間関係はガタピシしてうまくゆかなくなり、ではどのように心がけられるのでしょうか。お釈迦様は知恩・感恩・報恩を教えました。知恩とは「お陰」ということで、私たちは様々なお陰やつながりに支えられて生きています。そのつながりや支えに目を向けるのが知恩です。

知恩とは「感謝」ということです。一人でない、さまざまな支えがあつて今があるということを知ると「ありがたいな」と感謝の気持ちになります。感謝というのは、様々な支えに気づき、知恩から生まれる心です。**報恩**は、自分を支えてくれた人やものにお返ししたいという心です。知恩から知恩のこころが生まれ、知恩から報恩の心になります。知恩が、感謝の心の第一歩です。

つまり「ほかの人はどんなことをしてくれているのだろう」と全体に目を向けていくことが人間関係をスムーズにして行く大切な心がけとお釈迦様は教えられています。

令和7年度 現任福祉協力員
研修に参加して
元村 ノリ子

11月10日「現任福祉協力員研修」に参加させていただきました。講師は、認知症デイサービス「ぶらつとハウス」代表の勅使河原 航氏でテーマ①あなたといると安心する。②認知症があつても地域で安心して暮らすにはの2点でお話がありました。

「ぶらつとハウス」は、ぶらつと寄られてよい関係が生まれ、良い一日を重ねていく場所です。取り組みとしては、●施設感を感じさせない●固定スケジュールがない●毎日外出●地域との交流●美化活動に参加等で心身機能の向上、生活リズムが整い、楽しみも増えている。又、ネットで日常の様子を配信し遠く離れている家族知人から安心と喜びのこえがあつています。

認知症と良い関係を作るには、●嫌なこととはしない●今を大事にする●相手に関心を持つ●急がせないを基本に、認知症は、遠い誰かの話ではなく私たちが自身の話。日常生活の中で認知症の話題を出そう。福祉協力員活動の中で知り得た情報は共有しよう。施設や事業所巡り、要介護になる前に専門職に会おうと安心につながると思う。と話されました。

今回の研修で認知症の症状を意識しすぎず、気負わず「安心した」の一言が聞けるような活動をして行ければと思います。

「ツインパーティー」に参加して
福祉協力員 河野 ハツ子

この日は私にとって記念すべき初舞台となりました。

昨年の「ワンコインパーティー」の日三線と歌を聴いて「何か始めたいなあ」と思っていた私は、弾きながら歌うという沖繩三線に一目惚れをしてしまいました。

早速、先生を紹介していただき年明けから月2回のお稽古を始めました。実際にやってみると、音合わせがなかなかできない、指が思うように動かない、沖繩の言葉がうまく歌えない等々難しいことばかりで「これは勇み足だったかな？」と思うことも度々でした。でも、何時かは人前で弾けるようになりたいと毎日ひたすらに練習をしました。

今回、このパーティーで弾くチャンス頂きました。とても感謝しています。



子どもたちから年長者への年賀状
 今年も黒崎中央小学校の一年生く四年生の協力を得て、年賀状の挿絵を画いてもらいました。その中の一と年長者からのお返事を紹介いたします。



環境部会の活動報告
 部会長 花田 修

現在環境部会には5名の会員が所属しており、2週間毎石畑公園のいこいの家集合し、石畑づくりを行っていただきます。石畑づくりのあとは女性会員による手作りの食事が用意され、食事をはさんでの会話においては様々な話題が飛び交い、とても楽しいひと時を過ごしています。

去る11月26日には穴生学舎より14名の方々が石畑づくりの研修に来られ、私たちと和気あいあい石畑づくりを楽しみ素晴らしい交流を行いました。



新任民生委員・児童委員のご紹介
 岩田和子さんの任期満了に伴い、令和7年12月1日より委嘱されました。



安西早月さん
 (舟町)
 田町1〜2丁目
 藤田2丁目1〜2
 屋敷1丁目2)

街の二三情報

ラジオ体操元気にやっています
 民生・児童委員 中村 智子



紅梅公民館横の公園で朝7時半からラジオ体操をするようになって2年半になります。地域の年長者の方を中心に毎日12〜15名が集まりますが、今年から黒崎中央小学校の6年生が3名参加しています。年長者にとっては非常に励みになり、姿を見ると思わず笑顔で「おはよう、いらつしやい」と声がかかります。暑い時期はわずかな日陰を探し、寒くなると日当たりの良い場所に広がるなど声をかけ、和気藹々とやっています。皆さんも一緒にラジオ体操しませんか!!
 どなたでも大歓迎です!!

賛助金募集結果

令和七年度の賛助金の募集結果は左記のようになりました。皆様の心温まるご協力に厚く御礼申し上げます。

個人	167,000円
法人・団体	135,000円
合計	302,000円

募集中です
 黒崎地区社会福祉協議会では賛助会員を募集しています。一口千円のご寄付が、黒崎地区に居住する一人暮らし年長者の見守り活動に役立ちますので、皆様の温かいご支援をお願いします。

連絡先 黒崎市民センター
 電話 64114106